

詩集
薔薇窓のあかりに

大泉光子



詩集
薔薇窓のあかりに
大泉光子

著者略歴

大泉光子 (おおいずみ・みつこ)

所属 「POCULA」 同人

現住所 〒203-0033 東京都東久留米市滝山 6-2-11-212

詩集 薔薇窓のあかりに

発行 二〇一五年八月十五日

著者 大泉光子

装幀 高島鯉水子

発行者 高木祐子

発行所 土曜美術社出版販売

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町三十一〇

電話 〇三―五二二九―〇七三〇

FAX 〇三―五二二九―〇七三二

振替 〇〇一六〇―九一七五六九〇九

印刷・製本 モリモト印刷

ISBN978-4-8120-2229-0 C0092

© Ohizumi Mitsuko 2015, printed in Japan

詩集 薔薇窓のあかりに * 目次

I

海 8

三月悲傷 12

哀歌 14

五月——逝ってしまったものに——

18

かたみの詞 20

たったひとりの線香花火 24

漂泊 28

挽歌 30

昨日と明日の間 32

逝く季節 34

繋がれた生き物 36

誰もいない夜 38

薔薇窓のあかりに 40

郷愁の海 42

II

春の魁 46

春の便り 48

散りゆく花 52

薔薇 54

五月の朝 56

虹 58

雲の旅 60

砂時計 62

蛍 64

老いた樹に 66

秋の辛夷 68

新秋 72

わかれ 74

小さなものへ
76、

静かな秋
78

季節の栞
80

晚い秋に
82

無言歌
84

樹氷の森
86

新月
88

ふと立ち止って
90

添え書 比留間一成
92

あとがき
98

詩集 薔薇窓のあかりに * 目次

I

海 8

三月悲傷 12

哀歌 14

五月——逝ってしまったものに——

18

かたみの詞 20

たったひとりの線香花火 24

漂泊 28

挽歌 30

昨日と明日の間 32

逝く季節 34

繋がれた生き物 36

誰もいない夜 38

薔薇窓のあかりに 40

郷愁の海 42

II

春の魁 46

春の便り 48

散りゆく花 52

薔薇 54

五月の朝 56

虹 58

雲の旅 60

砂時計 62

蛭 64

老いた樹に 66

秋の辛夷 68

新秋 72

わかれ 74

小さなものへ 76、

静かな秋 78

季節の葉 80

晚い秋に 82

無言歌 84

樹氷の森 86

新月 88

ふと立ち止って 90

添え書 比留間一成 92

あとがき 98

詩集

薔薇窓のあかりに

海

はるか 水平線の彼方から
白い細い襷をたたみながら
波は絶え間なく寄せてくる
今は穏やかなこの拡がり

あなたが故里を發つた日も
この静けさの中だったのに
行き着く先は

砲火の炸裂する南の島

残り少ない生命を

どれ程の恐怖がしめつけたのか

仲間のすべてが死の沈黙に埋もれ

あなたの最後の視野にあったものも

訣れの言葉も

誰にも伝えることはできなかった

無念

七十余年の時を経ても

まだ辿りつくことのできない

遠い 遠い場所から

絶えることなくとどけられる

読みとり難い波の伝言

あなたと共に暮し

あなたの愛したひとたちが

もう誰ひとりいなくなってしまった今

私は独り

まだ あなたを待ち続けている